

G1阪神ジュベナイルフィリーズ

<最終見解>

中距離 G1 血統。特に外枠の馬は順当に力を発揮するレース。

本命はサフィラ

父はハーツクライ。当レースも強かったディープと同じくダービー馬を複数出す種牡馬。
母はサロミナ。同配合の兄サリオスも同コースの 2 歳 G1、朝日杯 FS を勝っています。

前走はアルテミス S で上がり 2 位。アルテミス S でメンバー中 3 位以内の上りを使って
いた馬のいずれかが 7 年連続で阪神 JF でも馬券対象馬を出しています。

ルシフェルもサフィラと同じくダンチヒの血を持つハーツクライ産駒。

ダンチヒ系は 2 歳 G1 で必要な体力の完成の早さも強化する。

母方にはシアトルスルー。父がハーツクライで母系にシアトルスルーを持つ配合は、
同コースの 2 歳 G1 朝日杯 FS を勝ったドウデュースと同じ。

同コースの 2 歳 G1 でもすでに十分な実績を収めている配合パターン。

コラソンビートはハーツクライ系のスワーヴリチャード産駒。

2 歳 G1 向きの体力も強化するアンブライドルズソングの血を継ぐ馬。

前走牡馬混合重賞で上り 2 位も当レースで評価できる戦歴。

G3カペラ S

<最終見解>

芝短距離指向の血統が走りやすいレース。

本命は 3 テイエムトツキュウ。

父も母父も芝 1200mG1 馬。

父キングマンボ系も 3 年連続で連対。

相手本線もキングマンボ系の 16 リュウノユキナ。

母父は芝 1200mG1 馬を複数出しているクロフネ。